

臨床外科 第27巻 総目次

1972年(第1号~第12号)

数字は通巻頁数、() 内は号数を示す。

〔外科の焦点〕

胃の術中細胞診について

竹中 正治・谷 田 秀・宗像 雅丈

竹 内 隆・谷 田 理・佐々木義夫……21(1)

そけいヘルニア手術の合併症……村上 治朗……153(2)

原発性大腸肉腫—自験8症例と本邦

集計201例の報告

吉川 宣輝・麻生 礼三・原 満

進藤 勝久・村井 紳浩・安富 正幸

陣内伝之助……285(3)

食道ファイバースコープによる異物

の摘出

遠藤 光夫・中山 恒明・矢沢 知海

羽生富士夫・岩塚 勉雄・山田 明義

鈴 木 茂・中村 光司・山田 和毅

牧 邁・竹本 忠良……437(4)

胃切除術後縫合不全および通過障害

に対する経鼻腔栄養管療法

渡辺 金隆・志 村 巖……741(6)

本邦における胃・十二指腸潰瘍に対

する手術方針の現況

石川 浩一・島津 久明……1193(9)

Fiberopics による Oxymetry および

Manometry 装置の開発

横 田 旻・高 橋 透・町田莊一郎

田村 正秀・田辺 達三・杉江 三郎

森 俊 之……1341(10)

〔特 集〕

—早期癌の外科治療—

早期肺癌

池田 茂人・小野 良祐・難波 煌治

成毛 韶夫……31(1)

早期乳癌の外科治療……久野敬二郎……39(1)

早期胃癌の外科治療……三 輪 潔……45(1)

大腸早期癌の外科治療……山 田 肅……51(1)

早期胆道癌の外科治療……永光 慎吾……55(1)

早期小児癌について

石田 正統・斉藤 純夫・土田 嘉昭

牧野 駿一……67(1)

—瘻—その問題点—

外傷性髄液漏の問題点……中村 紀夫……163(2)

気管切開ならびにカニューレ抜去困

難症……本多 芳男……171(2)

気管支瘻膿胸に対する外科的療法

—膿胸縫合閉鎖術を中心として—

……畑中 栄一……177(2)

合併症としての腸瘻の処置

……松林富士男・佐藤 薫隆……185(2)

合併症としての胆汁瘻の処置と再手術

……若林 利重……191(2)

外傷性唾液瘻……原科 孝雄・田嶋 定夫……199(2)

外傷性尿道瘻……大 原 憲……205(2)

—黄疸の外科—

黄疸の診断……小坂 淳夫……297(3)

肝内胆汁うっ滞症……市田 文弘……303(3)

Biliary diversion の病態生理

内田耕太郎・永松 良夫・本庄 一夫……309(3)

閉塞性黄疸の Surgical Risk

土屋 涼一・内村 正幸・古川 正人

赤司 光弘……319(3)

黄疸患者の術後合併症

葛西 洋一・玉 置 明・増田 一雄

森 田 穰・葛西 真一……325(3)

黄疸を伴った胆石症

西村 正也・久次 武晴・五十君裕君……331(3)

胆管癌および膨大部癌

菅原 克彦・黒 田 慧・田島 芳雄

柏井 昭良・石原 敬夫・佐藤 長夫……339(3)

膵頭部癌—直接および遠隔成績向上

のために……佐藤 寿雄・須田 雍夫……353(3)

肝障害を合併する症例に対する麻酔

の実際

天方 義邦・古 河 洋・恩 地 裕……363(3)

—日常外科の総点検 I—

頭部外傷の初療……三河内薫丸・大谷 光弘……447(4)

潰瘍手術と迷走神経切除……武藤 輝一……451(4)

急性胆嚢炎の手術時期と方法

星野 喜久・田山 忠勇・稲垣 宏
蓮見 昭武・立川 裕弘・菅 家 透
杉浦 芳章・松岡 宏一・平松 京一
草野 正一……………461(4)

イレウス治療の実際

……………齊 藤 溟・馬越 正通…469(4)

急性虫垂炎の病型分類と手術適応一

急性虫垂炎計数表使用5年間の
成績……………四方 混一・浮島 仁也…477(4)

成人ヘルニア治療の実際

前田 昭二・湯浅 鑑介・小林 進
馬場 正三・内田 陽教・立川 裕弘
大菅 志郎……………485(4)

小児そけいヘルニアの治療の実際

……………飯島 勝一・松林富士男…497(4)

人工肛門の手術と管理一最近の変遷

……………牧野 永城…503(4)

痔核・痔瘻の手術……………三輪 徳定…511(4)

一日常外科の総点検 II一

四肢骨折・脱臼の救急処置の実際

……………平 川 寛…589(5)

手の損傷の初療……………南条 文昭…599(5)

療疽の手術……………栗 村 仁…607(5)

指末節損傷の治療……………三浦 隆行…613(5)

熱傷の初療……………村松 正久・関口 忠男…621(5)

輸液の考え方の変遷とその方法

……………長谷川 博…627(5)

日常小外科の麻酔と管理……………緒方 博丸…637(5)

ショックに対する考え方と治療方針

……………隅田 幸男…641(5)

一皮膚切開法と到達法 I一

開頭術における皮膚切開法と到達法

……………坪川 孝志…747(6)

気管切開……………石原 恒夫…761(6)

甲状腺疾患の手術

原田 種一・西川 義彦・伊藤 国彦…767(6)

耳下腺腫瘍の手術……………北 村 武…771(6)

食道癌の手術……………都築 俊治…779(6)

肺の手術……………尾形 利郎…785(6)

縦隔腫瘍の手術……………岡 厚…791(6)

乳腺疾患の手術……………渡 辺 弘…797(6)

心臓の手術……………今野 草二・黒沢 博身…805(6)

胃癌の手術一とくに噴門癌について

……………岩 永 剛…813(6)

一皮膚切開法と到達法 II一

胆石症手術における胆道への到達法

……………佐藤 寿雄・鈴木 範美…893(7)

肝臓の手術

菅原 克彦・柏井 昭良・三 谷 進

河野 信博……………901(7)

直腸癌の手術

安富 正幸・村井 紳治・進藤 勝久…907(7)

虫垂炎の手術……………渡 辺 晃・加 畑 治…915(7)

小児の開腹手術

井上 迪彦・田村 重宏・石田 治雄

勝俣 慶三……………923(7)

小児外そけいヘルニアの皮膚切開

……………角田 昭夫…933(7)

腎臓の手術……………中 村 宏…939(7)

末梢血管の露出法……………神谷 喜作…945(7)

一胆道外科の Pitfall一

胆石症診断の落とし穴

綿貫 重雄・和賀井和栄・小幡 五郎

大原 啓介・木村 靖宏・橋場 永尚…1037(8)

胆石症手術における偶発症

……………佐藤 寿雄・松 代 隆…1045(8)

黄疸を伴った胆石症

内藤 行雄・西川 正一・上山 健弘

有本 重也・松岡 国雄・安田 正幸

上山 庸弘……………1053(8)

胆管炎の臨床一特に急性胆管炎を中

心とした考察

菅原 克彦・田島 芳雄・玉熊 正悦

柏井 昭良・三 谷 進・河野 信博…1061(8)

胆石症と胆道癌

代田 明郎・三 樹 勝・藤島 義一

清水 淑文・寺岡 資郎・吉岡 正智

田 尻 孝・岡田 靖朗・齊 藤 裕…1071(8)

胆道道および周辺の血管異常

……………宮崎 逸夫・木南 義男…1083(8)

肝内結石症

梅 園 明・尾形 佳郎・島 伸 吾

佐久間正祥・小林 武夫・小 方 卓…1091(8)

胆道外科の合併症一胆道癌手術症例

について

中山 和道・齊藤敏比古・吉田 晃治

池田 明生・中山 陽城・小島 伸彦…1099(8)

胆石症再手術からみた落とし穴……………香月 武人…1107(8)

特殊胆道疾患の外科……………浅倉 義弘…1119(8)

—出血治療の Pitfall—

出血源の探索

武藤 輝一・岩 淵 真・和田 寛治

吉田 奎介・佐藤 徹・松木 久

藍 沢 修・石 橋 清・金井 明行…1203(9)

出血源の術前および術中検索

……………関 根 毅・横山 成紀…1209(9)

出血源に対するX線検査の Pitfall

……………池内 準次・鈴木 博昭…1219(9)

出血源の内視鏡検査

鈴木 博孝・竹本 忠良・遠藤 光夫

丸山 正隆・川田 彰得……………1227(9)

出血源の血管撮影による探索

……………佐々木常雄・木戸長一郎…1235(9)

上部消化管出血における救急出血源

探索の手順と注意すべき Pitfall

川井 啓市・井田 和徳・赤坂 裕三

中島 正継・多田 正大……………1241(9)

上部消化管出血における出血源の臨

床特性

小林 迪夫・楊 総三・朔 元 則

小川勇一郎・井 口 潔……………1251(9)

出血源不明の場合の対策……………島津 久明…1257(9)

診断困難な上部消化管出血の治療—と

くに胃粘膜下動脈瘤破綻について

……………小 坂 進・木下 睦之…1265(9)

—頸部血管障害—

再録 “脈無し病”…清水健太郎・佐野 圭司…1351(10)

“脈なし病” その後の発展

……………佐野 圭司・斉 藤 勇…1373(10)

動脈硬化性頸部動脈閉塞……………上 野 明…1381(10)

外傷性頸部血管障害

……………千ヶ崎裕夫・大野 恒男…1389(10)

Powers' Syndrome (椎骨動脈間歇

的圧迫症候群) とこれに関連し

た症候群—ならびに Powers',

Syndrome 57 例の術後遠隔成績,

手術手技, 診断法などについて

……………長島 親男…1401(10)

Subclavian Steal Syndrome—その

病態と臨床症状について

……………田崎 義昭・沢 田 徹…1413(10)

—末梢血管の外科—

四肢の血管撮影法と読影

勝村 達喜・小野幸四郎・戸田 完治

古本 嘉昭……………1493(11)

慢性動脈閉塞症

稲 田 潔・岩島 康敏・岡田 昭紀

松本 興治……………1507(11)

急性動脈閉塞症

高雄 哲郎・大岩 郷樹・内木 研一

矢 野 孝……………1519(11)

下肢静脈瘤……………阪口 周吉…1531(11)

血栓性静脈炎……………桜井 健司…1541(11)

四肢動脈瘤—診断の要点と最近の治療法

……………大 原 到…1551(11)

Raynaud 症候群……………三島 好雄…1561(11)

—外科と大腸—炎症性疾患を中心に—

潰瘍性大腸炎患者の扱い方

進藤 勝久・安富 正幸……………1641(12)

潰瘍性大腸炎の診断

湯川 研一・林 正也・湯川 永洋…1657(12)

潰瘍性大腸炎の重篤度と手術適応

田中 千秋・田中 早苗……………1667(12)

潰瘍性大腸炎の外科的処置と術前術

後管理

小 山 真・岩 淵 真・和田 寛治

相 馬 剛・武藤 輝一……………1679(12)

潰瘍性大腸炎の合併症と治療

久保 明良・船 田 彰・氏家 紘一…1689(12)

大腸の非特異性疾患……………土屋 周二…1699(12)

潰瘍性大腸炎とまぎらわしい大腸結

核の1手術例

高橋 勝三・徳 永 剛・岩間 毅夫

福島 雅子・渡辺 恵幸・陳 維 嘉…1711(12)

〔カラーグラフ〕

刺創による心室中隔欠損および大動

脈・肺動脈瘻

……………新井 達太・池田 祐之…8(1)

臨床病理シリーズ

甲状腺癌Ⅰ

原田 種一・西川 義彦・伊藤 国彦…150(2)

甲状腺癌Ⅱ

原田 種一・西川 義彦・伊藤 国彦…282(3)

肺癌Ⅰ……………下里 幸雄・鈴木 明…430(4)

肺癌Ⅱ……………下里 幸雄・鈴木 明…582(5)

肺癌Ⅲ……………下里 幸雄・鈴木 明…734(6)

肺癌Ⅳ……………下里 幸雄・鈴木 明…886(7)

肺および肋膜の良性腫瘍

……………下里 幸雄・鈴木 明…1030(8)

縦隔腫瘍……………下里 幸雄・鈴木 明…1186(9)

胃疾患の肉眼診断 I. 早期胃癌の

肉眼形態とその鑑別(1)・・・佐野 量造・・・1337(10)

胃疾患の肉眼診断 I. 早期胃癌の

肉眼形態とその鑑別(2)・・・佐野 量造・・・1490(11)

胃疾患の肉眼診断 I. 早期胃癌の

肉眼形態とその鑑別(3)・・・佐野 量造・・・1638(12)

〔クリニカル・カンファレンス〕

穿孔性腹膜炎をどうするか

牧野 永城・桜井 健司・星野 喜久

飯島 勝一・高橋 勝三・熊谷 義也・・・954(7)

複雑な急性胆嚢炎をどうするか

牧野 永城・星野 喜久・桜井 健司

梅 園 明・飯島 勝一・高橋 勝三・・・1128(8)

上部消化管の大量出血をどうするか

牧野 永城・杉浦 光雄・桜井 健司

鶴川 四郎・上垣 恵二・・・1274(9)

結節性甲状腺疾患をどうするか

牧野 永城・原田 種一・樋口 公明

藤本 吉秀・・・1426(10)

潰瘍性大腸炎をどうするか

牧野 永城・新井 健之・池内 準次

矢沢 知海・細田 泰之・・・1718(12)

〔座 談 会〕

血管外科の問題点—血管造影, 動・静脈

のあつかい方, 救急処置

三島 好雄・古川 欽一・田辺 達三

草 場 昭・上 野 明・・・1570(11)

〔シンポジウム〕

胃の迷切をめぐつて—迷切研究会よ

り・その1・・・田北 周平・他・・・1288(9)

胃の迷切をめぐつて—迷切研究会よ

り・その2・・・田北 周平・他・・・1441(10)

〔境界領域〕

腹部外科手術と妊娠について

武内 義明・小原 嘉昌・石川 修二

小出喜代之・・・391(3)

〔特別寄稿〕

癌の化学療法における副作用—とくに

制癌剤の発癌性について

ディートリッヒ・シュメール・

藤村真示・訳・・・1447(10)

〔論 説〕

自動車交通事故による頭部症候群の

転帰に関する統計的観察< I >

・・・木下 公吾・片木 良典・・・95(1)

裂肛の発生因子による分類

高野 正博・隅越 幸男・佐藤 昭二

平 塚 襄・岡田 光生・・・107(1)

腹腔動脈瘤の手術治療

田辺 達三・太田 里美・橋本 正人

久保田 宏・本間 仗介・菱山 豊平

杉江 三郎・川 嶋 旭・・・219(2)

無菌動物を使用したイレウスの死因

の研究—とくに嫌気性菌, Cl.

welchii の Exotoxin を中心と

して

代田 明郎・大川 共一・恩田 昌彦

吉岡 正智・山下 精彦・紫 積

森山 雄吉・足立 憲治・宮下 正雄

遠井 散三・・・227(2)

自動車交通事故による頸部症候群の

転帰に関する統計的観察< II >

・・・木下 公吾・片木 良典・・・235(2)

甲状腺悪性リンパ腫の臨床的研究

・・・原田 種一・伊藤 国彦・・・245(2)

胆石症の胆嚢内胆汁細菌について

吉 川 澄・中原 数也・竹 谷 弘

村上栄一郎・伊 藤 学・・・397(3)

転移性肝平滑筋肉腫に対する肝動脈

結紮術

永末 直文・比企 亮介・荒木 貞夫

綾部 欲司・村上 博園・草場威稜夫・・・527(4)

乳癌手術後の再発例よりみた術後早

期死亡

岩 永 剛・小山 博記・高橋 良和・・・535(4)

胆石症を合併した十二指腸憩室

穴沢 雄作・宮城 伸二・岡本 祐嘉

宮川 忠昭・前川 武男・・・541(4)

食道アカラジアに対する Cröndahl

氏手術の経験

米 沢 健・海 部 暁・小林 達哉

笠川 恒夫・小 林 衛・塩谷 陽介

米本 敏雄・池田 典次・・・663(5)

病理解剖の側からみた術後胃癌死亡

例の検討・・・山際 裕史・石原 明德・・・671(5)

術後吻合部潰瘍についての考察

村上 忠重・川俣 建二・渡部 洋三	
沢田 芳昭……………	677(5)
代用血管に起因せる動脈瘤	
大 原 到・佐々木久雄・大 内 博…	687(5)
胆管ガス像の検討	
久次 武晴・五十君裕玄・古沢 悌二	
許斐 康熙・安藤 健一・志村 秀彦…	827(6)
Entire colon aganglonsis について	
浅倉 義弘・鈴木 宏志・大橋 映介	
加藤 哲夫・杉 村 敬・葛西 森夫…	833(6)
盲腸憩室炎について	
……………松林富士夫・佐藤 薫隆…	839(6)
胃粘膜の欠損と修復について…山際 裕史…	847(6)
脳肺吸虫症の外科的治療…………東 健一郎…	983(7)
総胆管囊腫—とくにレ線診断ならび	
に手術術式に関する検討	
松本 陽一・木 村 健・河合 克郎	
津 田 誠・陳 銓 忠・西山 章次…	991(7)
原発性胃肉腫について	
花田 弘義・赤岩 正男・斉藤敏比古	
成田征四郎・藤瀬 嘉則・藤岡 康彦	
笠 原 卓・山 口 芳・小島 伸彦	
中山 和道・工藤 殷弘……………	1153(8)
乳腺腫瘍の臨床的観察	
小林 克己・長田 宏平・葉梨 之義	
新野 和夫・菊 池 勉……………	1301(9)
胃空腸吻合部潰瘍穿孔による汎発性	
腹膜炎の1 治験例および吻合部	
潰瘍の現況	
北島 政樹・橋本 正夫・田畑 健久	
熊井浩一郎・西村 昌幸・丸山 圭一	
星野 喜久・飯倉 重常・宮崎 道夫…	1307(9)
上肢血管外傷の処置—初療の大切さ	
……………柿木 英佑・上 道 哲…	1589(11)
早期下肢静脈血栓症に対する手術療法	
上山 武史・武 井 晃・土屋 和弘	
黒 田 譲……………	1597(11)
前胸壁、鎖骨上部の悪性腫瘍に対す	
る動脈内持続注入化学療法	
宇都宮譲二・馬来 忠道・小川伸一郎	
津 屋 旭……………	1603(11)
マイクロ波照射による肝切除注	
……………逢坂 愛児…	1739(12)
吻合部潰瘍の外科的治療について	
……………青木 照明…	1747(12)
回盲部の非特異性潰瘍について	

陳 守 一・松林富士夫……………	1755(12)
〔症 例〕	
視交叉部グリオームの1 剖検例	
松 岡 茂・古和田正悦・大和田健司	
深 沢 仁……………	115(1)
特発性S 状結腸穿孔の1 治験例	
北野 福男・木下 博明・平田 早苗	
白 羽 誠……………	119(1)
生後11 カ月女児の原発性副甲状腺機	
能亢進症の1 治験例	
加藤 知行・服部 龍夫・三 浦 馥	
石樽 秀勝・吉岡 照樹・杉浦 潤一	
加藤 知昭・富田 明夫……………	123(1)
十二指腸脂肪線維腫の1 例	
山本 武常・南 碩 哉・黒 田 清	
西川 正光・巖本 達夫……………	129(1)
ステロイドが誘因と思われる多発性	
回腸穿孔の1 症例……………板東 隆文…	133(1)
副腎原発と異所性褐色細胞腫の2 治	
験例	
窪 田 俊・福音嘉一郎・三森 重和	
松本 陽子・佐藤 春子・太田 一朝	
平 山 章……………	253(2)
胃切除術後の愁訴について—その原	
因と2 手術治験例	
……………高 松 博・黒須 康彦…	263(2)
術前急性腹症と診断されたメッケル	
憩室炎とその穿孔およびメッケ	
ル憩室による腸重積とその3 例	
奥 村 堯・岸 田 司・大 室 僑	
亀頭 正樹・大橋 秀一・上田 義郎	
滝 本 昇・安岡 邦彦……………	267(2)
石灰乳胆汁の2 治験例と本邦報告例	
の文献的考察	
三輪 恕昭・平松 正勝・成末 允勇	
折田 薫三・緒方 卓郎・岡島 邦雄…	401(3)
巨大な囊腫性甲状腺腫の1 手術治験例	
大熊 祺章・大 山 満・永末 豊邦…	407(3)
肝内結石症と肝内胆管癌の合併につ	
いて	
角 田 司・古川 正人・赤司 光弘	
内村 正幸・古 瀬 光・土屋 涼一	
福 井 洋・平井 三郎……………	411(3)
メッケル憩室内異物による穿孔性腹	
膜炎の1 治験例	

保坂 陽一・熊谷 直俊・熊谷 義也…549(4)

95 % 膝再手術を施行し、良好な経過
をとつた Insulinoma の 1 例
嶋野 松朗・村上 哲之・田中 清雄
鈴木 康紀・木村 克明・田中 隆夫
小野 慶一・佐藤信一郎・江村 耀中…551(4)

冷却体外循環より止血に成功した肝
破裂症例…上山 武史…557(4)

形質細胞乳腺炎の 2 例
山本 武常・南 碩哉・黒田 清
西川 正光…561(4)

みかんに起因すると思われる食事性
イレウス
亀山 仁一・大沢 一郎・小田嶋榮作
岡崎 肇・後藤 勝也・橋本 昌美…565(4)

Ischemic Colitic の 1 例
豊島 宏・内木 詢一・小川 威示…569(4)

Thal-旗福法による特発性食道拡張症
の 1 治験例…平田 一夫・館田 朗…699(5)

胃空腸横行結腸瘻の 1 治験例
斉藤敏比古・藤岡 康彦・和田 八郎
中山 和道・占部 一喜…703(5)

褐色細胞腫の 2 治験例
日置 康生・横山 闌・浜田 国弘
原田 佳昭・野沢 真澄・板谷 博之
沼田 正紀・宮崎 重…709(5)

閉鎖孔ヘルニアの 1 治験例
…西沢 諒一・佐藤 貞治…717(5)

十二指腸平滑筋肉腫の 1 例および本
邦十二指腸平滑筋肉腫の統計的
考察
伊藤 秀哉・斉藤 政見・油田 紘邦
山口 民夫・松本 好市・鳥井 孝雄
三宅 哲也・藤野 敏行…857(6)

胃重複悪性腫瘍の 1 手術例—胃癌と
胃細網腫が各々独立して併存し
た症例
犬飼 治・中神 信男・伊藤 定雄
田代 勝洲・織田 実・宇野 裕…863(6)

足部再植の 1 例
熊谷力二郎・神 裕昭・田村 純一
遠藤 尚孝・土田 博…871(6)

左下肺野の転移性腫瘍と見誤られた
コレステリン性肋膜炎の 1 手術
治験例
船木 治雄・大田 早苗・布施 勝生

宮原 透・渋沢喜守雄…999(7)

乳児にみられた上腕動脈閉塞による
指壊死例
…大原 到・高宮 誠之…1005(7)

小腸に発生し一部悪性化する神経線
維腫の 1 例
賛田 茂雄・梅津 武美・菅谷 彪
渋谷 一誠・木村 孝哉・梁 盛強…1011(7)

腸間膜囊腫の 1 治験例と文献的考察
相川 直樹・吉崎 聡・鴛田 典夫
渡辺仁七郎…1165(8)

興味ある Eosinophilic granuloma
の 1 例…儀藤 洋治・古和田正悦…1171(8)

軽微な交通外傷に続発した多発性細
菌性肝臓膿瘍の化学療法のみ
による 1 治験例
根本 浩介・内田 道男・岩佐 裕
林 茂之・大賀 興一…1313(9)

腎前性急性腎不全の 1 例
平沢 博之・浅野 武秀・日浦 利明
小渋 智哉…1317(9)

Subclavian Steal Syndrome の 2
治験例
西島 早見・三木 嗣・藤井 雅義…1455(10)

術前に疑いをおくことのできた甲状
腺髄様癌の 1 例
藤本 吉秀・岡 厚・折茂 肇
山口 和克…1461(10)

孤立性肝結核腫
左近司光明・野崎 幹弘・若林 利重
桑木 綱一・石田 徹…1467(10)

食道平滑筋腫について
秋山 洋・山崎 善弥・丹羽 寛文
藤原 研司・篠原 幸夫・木暮 喬
板井 悠二…1615(11)

肝臓放線菌症の治験例
原科 孝雄・松井 康信・田嶋 定夫
須藤 政彦・伊藤 隆雄…1763(12)

脾臓結核の 1 症例
内田 道男・根本 浩介・岩佐 裕
黒岩 延男…1767(12)

大腸に発生した異時性重複癌の 3 例
鈴木 時雄・西村 五郎・古賀 敏郎
黒須 康彦・山川 知洋…1771(12)

〔研究〕

閉塞性黄疸と急性潰瘍—とくに黄疸

犬の胃分泌能を中心に

玉熊 正悦・金山 知新・中野 春雄

沖水 功太・島津 久明・菅原 克彦…655(5)

子犬における完全経静脈栄養時の脂

質代謝の検討

……………古賀 禧子・池田 恵一…957(7)

〔脳外科〕

^{99m}TcO₄ Brain Scanning との相関

よりみた RISA Cisternogram-

新しい脳外科的診断法としての

臨床的意義

坪川 孝志・大伊 美行・中村 哲三

森安 信雄……………519(4)

〔外科教育を考える〕

市中病院における臨床研修について—

墨東病院外科における教育プログ

ラム……………四方 淳一…80(1)

〔トピックス〕

α-fetoprotein と Hepatoma…平井 秀松…76(1)

〔臨床メモ〕

縫合糸の話……………牧野 永城…508(4)

〔患者と私〕

おもいつくまに……………山岸三木雄…212(2)

「病氣」ではなく「病人」を治せ

……………綿 貫 喆…376(3)

〔学会印象記〕

第9回日本癌治療学会—シンポジウ

ム「社会復帰を考慮した癌の治

療1」を司会して……………中山 恒明…86(1)

第7回日本移植学会……………辻 公 美…88(1)

第9回日本人工臓器学会……………藤 正 巖…90(1)

第72回日本外科学会……………都築 俊治…1148(8)

第8回国際脈管学会……………三島 好雄…1196(11)

〔私の意見〕

学会シーズンに寄せて—学術集会の

企画運営について……………出月 康夫…382(3)

〔読者から〕

「楓の黄葉」に対する疑問……………角本陽一郎…548(4)

〔海外だより〕

アメリカ外科学会総会に出席して

……………岡 田 正…378(3)

〔外国文献〕

79(1), 85(1), 92(1), 93(1), 211(2), 214(2), 215
(2), 216(2)

〔書評〕

John Hayward・「Hormones and

Human Breast」Cancer—

Recent Results in Cancer

Research No. 24……………阿部 令彦…38(1)

山本亨・若杉文吉著「図解痛みの治

療」……………高橋 長雄…65(1)

Hermann Schmidt 著・隣谷義人訳

「X線断層像解剖アトラス」

……………高橋 睦正…105(1)

早田義博・坪井榮孝・鈴木明編集

「肺癌のX線診断—早期発見の

ために」……………鈴木千賀志…217(2)

西岡清春著・「全身性疾患と骨」…山村 雄一…292(3)

Eddy D. Palmer・「Upper Gastroin-

testinal Hemorrhage」……………都築 俊治…318(3)

山本亨・若杉文吉著「図解痛みの治

療」—神経ブロックを中心に

……………西邑 信男…361(3)

五十嵐正男著「不整脈の診かたと治療」

……………野原 義治…374(3)

長石忠三著「Functional Anatomy

and Histology of the Lung」

……………加納 保之…375(3)

Tames D. Hardy 編「Critical Surgical

Illness」……………都築 俊治…381(3)

M. E. Müller・他著 杉本侃訳「図

解骨折の手術」AO法……………藤本 憲司…395(3)

杉野信博著「腎不全の臨床」…稲生 網正…467(4)

畔柳武雄他編・免疫学叢書 4.「感

染の免疫病理」……………田中 健蔵…563(4)

大熊輝雄著「臨床脳波学」第2版

……………平井 富雄…652(5)

高橋正宜著「Color Atlas of Cancer

Cytology」……………太田 邦夫…653(5)

- S. H. Friedman 著「Visual Anatomy」
 1. Head and Neck……葛西 洋一…653(5)
 畔柳武雄他編・免疫学叢書 4.「感
 染の免疫病理」……小林 登…654(5)
 B. H. Smith 著・池田久雄訳「頸
 部脊椎症とその神経合併症」
 ……黒岩義五郎…708(5)
 J. E. Whitley & N. O. Whitley
 著・「Angiography」……三島 好雄…811(6)
 Charles Eckert 編「Emergency-
 Room Care」……須藤 政彦…906(7)
 安河内五郎編「急性一酸化炭素中毒」
 ……稲永 和豊…921(7)
 J. B. Stanbury, J. B. Wyngaarden,
 D. S. Fredrickson 編「The Me-
 tabolic Basis of Inherited Disease
 3rd ed.」……田中 克己…1010(7)
 B. H. Smith 著・池田久雄訳「頸
 部脊椎症とその神経合併症」
 ……樺 忠雄…1106(8)
 神奈川県交通救急センター編「交通
 災害外科の実際」……宇山 理雄…1240(9)
 森崎直木編「図解腰痛と坐骨神経痛」
 ……宮崎 三郎…1264(9)
 西村謙一著「頭部外傷治療の実際」
 ー救急処置からリハビリテーシ
 ョンまで……藤田 五郎…1300(9)
 佐野圭司著「脳腫瘍」とその病理と
 臨床……三輪 哲郎…1306(9)
 穴沢雄作・他著「臨床X線診断学」
 第4巻(2), 腹部(2)……石田 正統…1379(10)
 長石忠三・校閲, 岡田慶央著・「肺癌」
 ……北 本 治…1399(10)
 児玉俊夫・武智秀夫著「骨・関節の
 X線診断」……天児 民和…1746(12)